



こあらぐみだより

9月

杉戸みちのこ保育園 令和2年9月1日 発行

早いもので、入園してから半年になろうとしています。子どもの成長も日々変化し、逞しさを感じられるようになりました。最近みんなで朝の挨拶を行っています。その際に一人一人の名前を呼ぶと『ハーイ』と手を上げてくれるようになりました。また遊んだ後には、お片付けを一緒にやってくれます。少しずつ出来ることが増え、保育者とのコミュニケーションも増えてきました。毎日の生活の中、繰り返し行う事で、生活習慣が少しずつ身に付いています。暑さも落ち着き園庭遊びがたくさん出来るようになったら、もっともっと活発に動き、意欲的に遊んでくれることでしょうか。こあら組後半！どんな姿を見せてくれるか楽しみです。



手づかみ食べの大切さ！

「ごはんだよ～！」と声をかけると自ら進んでテーブルに向かってくる子ども達！食べる事が大好きになってきました。自然と手づかみ食べが出来るようになり、食べ物への関心を持ち始めています。手づかみ食べの良い点は、直接手で触れることで五感をフルに使います。目で食べ物の色や形を確認したり、触ることで温度を感じたり、口に入れて硬さや味を確認し、脳への刺激になります。また、指先が発達途中の子供にとって掴むことや、口に運ぶことを通して集中力を養います。手づかみ食べにより「自分で食べた！」という達成感から食べる事への意欲へと繋がってき、スプーンやいづれ使う箸の移行がスムーズになっていきます。毎日、忙しいお母さんにとっては、色んな食材やメニューを考えるのは大変だと思いますが、子どもが「おいしいね！」と思える楽しい食卓にしていけるといいですね。食べる活力！生きる活力に繋げていきましょう。(∞>∪<∞)。◆♡◆♡

どうして嘔みついちゃうの？

自我が芽生える1歳からの時期には、「こうしたい」「あれが欲しい」「自分でやりたい」などの要求が強くなってきます。その中で、自分の欲しいおもちゃを他の子が使っていた時、お友達に何かをわかってほしいと思った時などに、言葉の代わりにとっさに「嘔みつき」という行動が出てしまうのです。おもちゃを貸してほしくても、その意思を表現できず、嘔みつくことで意思表示をしてしまう事があります。挨拶のつもりで嘔みつく、興奮してしまってどうしていいかわからず嘔みつく、お友達にじゃれるつもりで嘔みつくなど、嘔みつきの理由は必ずしも不満が原因でないこともあります。小さい子供は手以上に口が発達していることもあり、とっさに口が先に出てしまう傾向にあります。嘔みつきは必要な言葉や行動がわからず出てしまうことが多いので、その気持ちを受け入れ、理解してあげることが大切なのです。

～保護者のみなさまへ～

☆子育てに関して心配事や気になることがあれば、気軽に声をかけてください。一緒に考え、共に子育てをしていきましょう！

